

中川浸水想定概要

この浸水図は、中川・綾瀬川流域において想定しうる最大規模の降雨によって、中川のいずれかの場所が氾濫した場合の最大浸水深です。
 実際の洪水発生時とは想定浸水深が異なる場合や、浸水が想定されていない区域も浸水する場合があります。

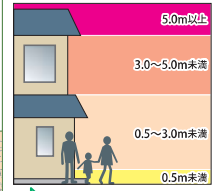
中川が氾濫した場合

凡例

- ① 水害時避難施設
 (水害時避難施設一覧はP35～38を参照)
 注意：水害時避難施設には、浸水や避難者の状況により避難施設が開閉されます
- ⊙ 区役所
- ⊗ 警察署・交番等
- ⊕ 消防署・分署等
- 区境
- 主要な道路
- 鉄道 (地上部分)
- - 鉄道 (地下部分)

想定される最大浸水深

- 5m以上
- 3m以上～5m未満
- 0.5m以上～3m未満
- 0.5m未満



避難の方向
 浸水しない地域への避難の方向を示しています。

- アンダーパス等の浸水しやすい道路
- 地下施設
- 河川等の水域
- 河川敷



『利根川水系中川浸水想定区域図』
 ■浸水想定作成主体：
 国土交通省関東地方整備局江戸川河川事務所
 (平成29年7月20日)
 ■想定降雨規模：
 中川・綾瀬川流域の48時間総雨量596mm
 ■対象となる洪水予報河川：
 利根川水系中川(東京都葛飾区～埼玉県松伏町)

